

【2026年度以降入学生】カリキュラムポリシー

嵯峨美術大学 芸術学部

嵯峨美術大学芸術学部は以下の方針に基づいて教育課程を編成すると共に、自律的に履修プランを構築できる柔軟な制度を運用する。

[創造力：柔軟な発想と新たな表現]

素材や技法を探求することで、創造意欲、発想力、構想力を育み、伝統を踏まえつつ新たな表現を開拓できる力を養う。

[思考力：本質の追究と課題解決]

教養教育と専門教育を通じて、論理的・批判的に考える力を高め、課題の本質を捉えて解決へ導く思考力を培う。

[知識：体系的な理解と教養]

芸術や文化に関する幅広い教養と専門知識を体系的に学び、学際的視野からの理解を深める教育を行う。

[展開力：社会への発信と貢献]

キャリア教育やリテラシー教育に加え、社会連携教育を推進し、自己の思考と表現を社会へ発信・貢献する力を育む。

嵯峨美術大学 大学院

芸術研究科修士課程は、次の方針に基づいて教育課程を編成する。

[研究力] 専門知識と技能を深め、自ら見出した研究課題に取り組む姿勢を身につける。

[思考力] 自ら見出した研究課題を多方面から検証するための論理的な思考力を養成する。

[発信力] 自身の研究を社会の中で実践的に活用する能力を養う。

嵯峨美術短期大学 美術学科

現代に生きる社会人としての基礎的な教養と、芸術文化に対する広い視野を持って社会に貢献できる専門的素養を身に付けるために、段階的に学べるカリキュラムを構成する。

そのために以下の科目群を設置する。

- ・一般教育科目：専門知識に片寄らない広範な教養を身につけ、豊かな人間形成を目指す
- ・専門教育科目：各分野・領域に必要な専門知識およびコミュニケーション力を身につける
- ・展開科目：より幅広い人間形成を目的とする
- ・選択演習科目：所属分野・領域に関わらず、さまざまな表現の習得を目的とする
- ・専門演習科目および専門実習科目：所属分野・領域の必修科目として設定する

嵯峨美術短期大学 専攻科

現代に生きる社会人としての基礎的な教養と、芸術文化に対する広い視野を持って社会に貢献できる専門的素養を身に付けるために、段階的に学べるカリキュラムを構成する。

そのために以下の科目群を設置する。

- ・各専攻共通科目：広範な教養と専門的な知識を身につける
- ・専攻別専門科目：実習を中心とした授業で、所属専攻の必修科目として設定する